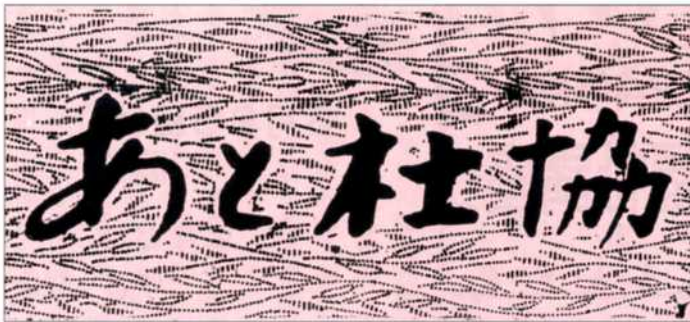




会報第122号

平成24年11月28日発行

阿戸地区社会
福祉協議会
広島市阿戸福祉センター内
電話 856-0294

阿戸町の世帯・人口

世帯数	951戸
人口	2,336人
男	1,148人
女	1,188人

(平成24年10月末現在)

敬老祝賀会

児童・障がい児者部会

松田 英子

暑さの残る9月16日、75歳

80歳以上の方々が楽しみにしておられた敬老会が、阿戸福祉センターで開催されました。出席者は96名。この中で最高齢者は106歳を迎えられた方です。

今年は中学1年生全員に、敬老者の皆さんをホールまで案内



9月16日(日)開催

内していただき、式典では嬉しい合唱のプレゼントがあり、敬老者の皆さんは中学生から元気なパワーを頂かれたようです。

式典終了後は、皆様和気あいあいと心づくしのお弁当に舌鼓を打たれながら祝賀会へと移りました。大正琴に始まり、子どもたちのダンス、民謡会のやさしさ溢れる踊り、女性会・民児協の踊り等々に、目と耳をフル活動させていただいたように思います。

敬老者の皆様いかがでしたか? 「来年もみなさまお元気でまたお会いしましょう」を合言葉に、益々健康でと祈念しながら散会いたしました。

敬老会に参加して (中学生の感想)

会がはじまるとたくさんの方たちがいて、よくこんなに多くの人数を案内できたなとすごく達成感がありました。歌では、自分なりに心をこめて歌ったからか、リズムを取りながら一生懸命聴いてくださった方もいました。とてもよかったなと思いました。これからも長生きをしてくださうて、僕たちもしっかり思いをつないでいけたらいいなと思いました。



阿戸中学校1年 佐藤 彩音
最初は全く流れがつかめなかったり、緊張していたので案内する時に「おはようございます。」「おめでとございます。」「リボンをつけてください。」「三言しか言えませんでした。でも、お年寄りの方が話しかけてくれたのでやさしいなと思いました。」

私は敬老会に参加して、お年寄りの方のつきそいや話し方を学びました。これからは、お年寄りの方や大変そうにしている方をみてたら手伝ってあげようと思います。

私ははじめて車いすにのった方を案内しました。初めてなのでどうしようと思いました。でも事前学習で押すスピードや押し方を学んだのを思い出して、なんとか2階まで行けました。私はその時、お年寄りの体の事を考えて動くのはけっこう大変だなと思いました。私がもっと大変だと思ったのが、名前や住んでいる区を聞くときです。お年寄りは耳がよく聞こえないと学んだのを覚えていて、大きな声で話しかけたのですが、聞こえない方もいて私も大変だったけれどお年寄りの方も毎日このような生活をしていると考えると、私ももっと大変だなと思いました。足をあげるのにもひと苦労されているのを見ると、手伝ってあげようかなと思うようになりました。



阿戸中学校1年 寺脇 大雅

敬老会では僕たち中学1年生は、お手伝いとして参加しました。行った時に、人がたくさん来ているのを見てとても緊張しました。

阿戸中学校1年 佐藤 彩音

最初は全く流れがつかめなかったり、緊張していたので案内する時に「おはようございます。」「おめでとございます。」「リボンをつけてください。」「三言しか言えませんでした。でも、お年寄りの方が話しかけてくれたのでやさしいなと思いました。」

第2回

9月26日(水)
開催高齢者・ボランティア部会
平田 泰宣平成24年度
住民福祉講座

第1回

8月25日(土)
開催広報部会
宇野 耕次

「NPO法人きっかけ作りの会」理事長の奥田信春氏を講師にお招きしての「車椅子利用者について」の講演で、安心して車椅子に乗っていただくための注意点を学んだ後、参加者に車椅子の利用を体験していただきました。

体験者は「車椅子を押す際には、路面の僅かな段差や傾斜など、路面の状況などをよく把握して支援しなければならない事が良く分かりました。」と話していました。



学ぼう！
伝えよう！
みまもろう！



社会福祉士の薬真寺満里子氏を講師に迎え、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを考える」と題して、孤立を防ぎ地域の絆を深めるには我々は何をなすべきか？という内容で、「学ぼう！伝えよう！つながろう！」という三つの言葉と四つの提言をいただきました。

参加者からは「大変有意義なお話で良かった」と好評でした。



福祉懇談会

阿戸地区社会福祉協議会では、地域福祉活動の啓発を図ると共に、福祉に関するニーズや地区社協への要望等を把握するため福祉懇談会を町内会単位で班長さんなどを対象として実施しております。

今年度は年度当初の6、7月に実施しました。福祉懇談会では、平成23年度の阿戸地区社協の活動概要について報告を行い、平成24年度阿戸地区社協が新たな活動として取り組む「町内会班単位福祉ネットワーク（あーとネット）」について説明を行い、協力をお願いしました。

高齢者世帯やひとり暮らし世帯が増加するなか、「このような取り組みは必要」との賛同をいただくと共に、地区によっては既に同様な取り組みを行っているとお話もありました。福祉懇談会は年1回開催しておりますが、ご希望があればいつでも開催いたしますので連絡をお願いいたします。



事務局長 景山 尚文

高齢者と子ども会のふれあいペタンク大会

児童・障がい児者部会 高橋 千秋

6月30日(土)に公民館にて、ふれあいペタンク大会を実施しました。ふれあいペタンク大会は、去年に引き続き2回目になります。

ペタンク大会の日にちが決まってから、あまり日にちがなかったのですが、老人クラブをはじめ皆様のご協力を得て無事開催することが出来ました。老人クラブ真藤会長の挨拶に続いて、ペタンクをした事のない子

老人クラブ運動会

第2区 末永 宏征

9月8日(土) 秋晴れの残暑厳しい日、老人クラブの運動会が阿戸公民館で行われ、参加しました。5クラブの総勢93名が6競技に、1人3種目参加します。まず「なかよし3人組」では紅白各3人が肩を組み風船を顔で挟んで走ります。小さいおばあちゃんは背の高さがあわずにうまく出来ません。「チンチン電車」は4人電車で高さ50cmくらいの段ボール電車です。乗り換え時、足が上がらず乗車出来ません。周りの皆さんで助け

試合がやりたいという要望も出てくるほどでした。子ども達も来年はもっと試合がしたいと思っているのも、高齢者の方々にもいつまでもお元気で続けてもらえたらと思います。



合つての乗車でなんとか発車です。「玉入れ」は、青竹を継ぎ足した3.5mの高さでの競技です。紅白とも、うまく女性が男性に玉を手渡し、投げてもらって球数を増やしました。「伝言・落書き」では、後の人が前の人の背中に言葉を書き、10名で正確に伝える競技ですが、我がチームでは「おつきみ」が「おつまみ」の1字違いで伝わり、晩酌好きの人が間違えたようです。「お引越し」「ふんころがし」と競技は進み、怪我もなく



高齢者と児童館との交流会

第5区 岩田 昭

「仲良し交流会」に参加してよかったと思いました。夏休みも終わりに近づいた8月22日(水)、福祉センターホールで児童館を利用して子供たちとの交流会に参加しました。

児童2名の司会で開会され、松田社協会長他の挨拶に続いて参加児童17名が自己紹介した後、児童館での子供たちの様子が紹介されました。現在児童たちが熱中している一輪車を5名の児童が自在に乗りこなし、出席者から盛んな拍手を浴びました。

引き続き児童と高齢者が交互に座り、ゲームを行いました。一時間ほどの交流会でしたが、高齢者はもとより、お世話をしていたいただいた役員さんも童心に返って楽しいひとときを過ごす事が出来ました。子ども達の成長を見守りながら、来年の交流会にも参加できるよう、私達も元気で頑張りたいと思います。

阿戸小学校6年 中江風愛

私は久しぶりに「仲良し交流会」の実行委員として参加しました。

一番面白かったのは、割り箸で輪っかを通して運ぶリレーでした。なぜかという、みんなが心を一つにしてリレーしていたのが、とても面白かったです。もう一つは、私もゲームに参加した「爆弾ゲーム」で、これも面白かったです。音楽を流して止まった時に爆弾を持っていた人が負けで、負けた人がバツゲームをしました。バツゲームではみんなの好きな食べ物や色々な事が分かりました。一輪車の発表もすごかったです。



福祉防災会議

7月22日(日) 開催

各区町内会長と民生委員児童委員で福祉防災会議を開催しました。各町内会で支援の必要な方の情報を双方が共有し、活動出来る様確認しました。今後は災害時における避難場所の確認や、避難活動をいかにスムーズに行えるかを、再検討する必要があると思っています。

また今年度より社協の福祉活動

地域福祉部会
景山 香葉

の一環として、「あーとネット」方式と呼ぶ、町内会の班長さんをご近所の方を気かけ、声かけをする運動を始めました。これから、誰もが安心して暮らせる町になるよう活動していきたいと思っています。今後とも皆様方のご協力をよろしく願います。

阿戸地区社協

賛助会員の紹介

新たに次の方が阿戸社協の賛助会員になりました。ご厚志を町内福祉のために有効に活用させていただきます。ありがとうございます。

株式会社 山下製作所 様



次の方々から、ご寄付をいただきました。この善意は住民福祉活動のため、有効に活用させていただきます。ご厚志、まことにありがとうございます。

◆香典の返礼にかえて

柚木孝太様
金山好江様
副島美代子様
住岡澄子様

◆見舞いの返礼にかえて

山下緑様
川崎エミコ様
山根博之様

◆一般寄付

阿戸町商工会 様
薬真寺 満里子 様

●阿戸社協のしき

ふれあいベタンク大会
福祉懇談会(第2区、第4区)

福祉防災会議

ボランティア交流会

第3回理事会

高齢者と児童館交流会

第1回住民福祉講座

敬老祝賀会

第2回福祉教育推進会議

第2回住民福祉講座

共同募金運動開始

理事・監事・評議員合同会議

金婚祝い申込締切

くにくさ苑交流会

(小学3年生)

ふれあい邦楽鑑賞会

中学3年生と高齢者との交流会

金婚祝い慶祝訪問

「あと社協」122号発行

(以降は予定)

第4回理事会

しめ飾りづくり

(中学2年生)

毎週月曜日の午後、木曜日の午前、困りごとやボランティア活動の相談に応じる

◎毎月(第二土曜日)配食サービスの実施

編集後記

先日、中学2年の息子が職業体験に行きました。自分が気になる職業の中から第一候補の体験をする事が出来ました。子どもは熊野町での体験で、事業所の方たちも、とても丁寧な指導してくださり2日間貴重な体験をすることができ、期間中トラブルもなく、満面の笑みから、充実した2日間だった様に思います。

また他の生徒達も、阿戸、瀬野、熊野に分かれて、どの生徒も一段と成長して帰った様です。協力してくださった事業所の皆様有難うございました。

職業と言えば、リーマンショック、東日本大震災などと、周囲を取り巻く環境はかなり厳しく、今年卒業した学生の就職は特に厳しいように思います。今の時代は一昔前と比べて、大学を出ても就職のない時代です。

困難な時代だからこそ、小、中学生の時から、自分の夢を実現するには何が一番重要か見極めて努力する事が重要か見えます。勉強も大事ですが今自分に何が必要か、夢の実現に向かつて頑張ってください。

広報部会 井場 光子